

本時のねらい

- ・自分の思いを伝える歌詞を、旋律に合うように作詞し表現することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・合唱のパート練習中の課題として出題することで、個人でも曲の旋律の理解を深め、味わうことができる。
- ・イヤホンを使用することによってパート練習中でも、音源を繰り返し確認することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット端末 (iPad) ・ロイノート ・イヤホン

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあて「旋律に合うように気持ちを表現しよう」、授業の流れを確認。ここでいう「表現」とは、歌唱表現ではなく、文字として表現するということを伝える。 ○発声練習 	
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱《旅立ちの日に》のパート練習と、《旅立ちの日に》オリジナル 3 番の作詞をする課題の説明をする。 ○7分ごとに時間を分けて、ソプラノパート、アルトパート、テノールパート 1、テノールパート 2 の順番で教員のピアノ伴奏に合わせてパート練習を行う。 ○自分のパートの順番を待っている間に、ロイノートで《旅立ちの日に》の 3 番を作詞する課題を進める。3 年間の中学校生活の思い出や、卒業後の未来についてなどをテーマとし、曲の旋律のリズムに合うように作詞する。 ○歌詞を考えた後は、ロイノートで実際の楽譜に歌詞を書き起こし、どのような思いで作詞をしたか、みんなにどのように歌唱表現してほしいかを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒に配信した課題をモニターに映しながら、課題の説明をする。 ○イヤホンを使用することで、合唱の練習中でも音源を聴くことが可能。 ○歌詞を考える際、言葉をインターネットで調べることができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえり ○次回はロイノートを使って、それぞれが考えた 3 番をクラスで共有すること、またその中から 1 番歌いたいものを投票し、票の多かった作品を実際に合唱することを予告する。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



「旅立ちの日に」の音源をイヤホンで聴いている様子



オリジナルの歌詞を考えている様子



ロイノートで全員が作った歌詞を共有し、アンケート機能を用いて、投票する様子

児童生徒の反応や変容

- ・語彙が少ない生徒でも、インターネットを使い自分の思いに合う言葉を調べ、作詞を進めることができていた。
- ・ロイノートで音源を配信することにより、楽譜で音をイメージすることが難しい生徒でも、旋律を繰り返し視聴し確認することができていた。
- ・共有機能を用いることで、クラス全員分の作品をすぐに確認することができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・作品の共有機能やアンケート機能を使うことによって、活動時間を確保しながら、曲への理解を深めることができた。
- ・イヤホンを用いることで、必要なタイミングで繰り返し音源を聴くことができるので、今後の鑑賞の授業でも活用できる。